

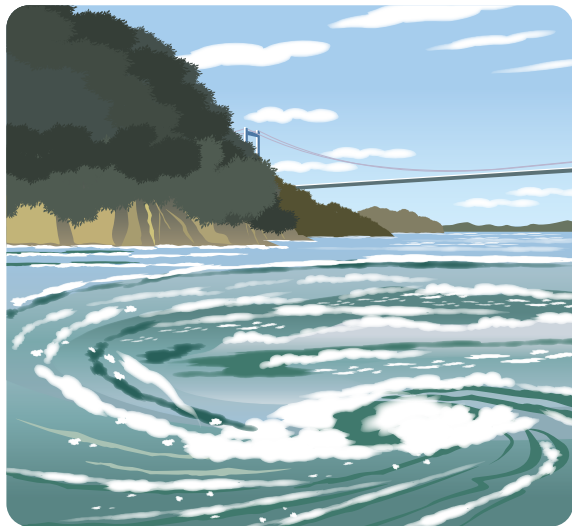
鳴門に次ぐ渦潮が見られる海峡

潮の流れは鳴門に次ぐ速さ! 「来島海峡の渦潮」
くるしまかいきょう うずしお

瀬戸内海を臨む愛媛県・今治市と、その沖「大島」との間の「来島海峡」は、昔から潮の流れが速く、徳島県～淡路島の間「鳴門海峡」とともに、渦潮観光の名所となっています。

海上保安庁によると、最も潮流が速いのが鳴門の渦潮(時速約19.4km)で、これに次ぐのが来島海峡の渦潮(時速約19.1km)と報告されています。

来島海峡は複雑な海底地形で、海水が湧き上がるように流れ、特に満月と新月の日は迫力ある潮流が見られるそうです。



「鳴門海峡」「関門海峡」とともに、日本三大潮流とされる「来島海峡」の渦潮。潮の流れが間近で見みられる観潮船(かんちょうせん)も運航していて人気となっています。